

議員 ①住居表示未整備地区以外の整備は。②電柱に掲示されている地域表示の再整備は。③市管理の道路照明灯支柱の掲示利用は。④戸田市5地区(下戸田、上戸田、新曾、笹目・早瀬、美女木)の色別表示は。⑤犯罪、事故等遭遇時の位置確認整備は。

都市整備部長 ①住居表示に関する法律の規定に基づき、破損程度により適宜撤収、補修を行う。

②屋外広告物法に基づき、東京電力、N.T.T、申請者と調整を図る。③表示方法や設置の不可を検討する。④公共サインモデル地区において、部分的であるが具体的に整備を実施していく。⑤既存の電柱、道路照明灯、屋外広告物等、バランスを見て対応を検討する。

野竹・夏浜・天王公園に介護予防運動器具の設置を

議員 高齢化が進み介護保険法が改正され、介護予防サービスでは、給付費を抑えながら介護の必要度の低い

人に筋力トレーニングや栄養指導を行い、介護度の悪化防止へと、まさに高齢者の今後の生き方に関心度が高まりつつある。地域の公園では、早朝



▲お気軽に使ってみてください

ラジオ体操が行われており、さらなる健康増進を図るためにも介護予防運動器具の設置についての考え方は。

都市整備部長 公園内の各種公園施設の配置状況から、器具設置のためのスペースの確保が課題となっており、当該器具を設置する方策の一例として、交換時期にきているベンチ等をユニバーサルデザイン化された健康増進機器に交換する方法等により設置が可能。今後、関係町会と協議を行い、検討していく。



▲子ども参加による条例づくりを(昨年の子ども議会)

議員 子どもの目線に立つて将来を見据え、子どもたちが大人になっても変わらない理念を子ども参加による条例で定め、市民も未来に投資しやすい基金を作ってさらなる支援をすべきではないか。

市職員に新しい血を

議員 民間の風土を職員間に広めるため、採用の年齢制限撤廃、任期付き採用、高齢者限定の採用、民間人による採用面接を取り入れられないか。

た併用型の面接を研究する。的確な勤務評定でメリハリある評価を

議員 優秀な職員は毎年昇給できるように、力の及ばない職員には退職も含めた分限処分の徹底をすべきである。また、同じクラス同士の評価や部下による上司評価も取り入れた、360度評価とすべきである。

夕焼けチャイムの時間は保護者意見を聞いて

議員 昨年10月から急に変わったチャイムの時間に戸惑っている意見が多数を占めている。長期休暇の昼のチャイムも含めて、市民の意見を集約して見直すべきだ。

総務部長 幅広い意見を聴取して検討する。

一般質問

子ども条例と子ども基金による子育て支援せよ

中島 浩一 議員

議員 子どもの目線に立つて将来を見据え、子どもたちが大人になっても

変わらない理念を子ども参加による条例で定め、市民も未来に投資しやすい基金を作ってさらなる支援をすべきではないか。

議員 民間の風土を職員間に広めるため、採用の年齢制限撤廃、任期付き採用、高齢者限定の採用、民間人による採用面接を取り入れられないか。

総務部長 内部育成型の人事を考えている。一部民間人を取り入れ

病児・病後児保育を

導入しては

菅原 文仁 議員

議員 子どもが風邪をひいたり、熱を出したりして病気になるたびに、両親のどちらかが休むかで夫婦げんかも起こっている。子どもが通園できない

子育てしやすいまちづくりのために重要な課題であると考えます。子育て支援策として導入してはどうか。

「病児保育」の導入は、

福祉部長 本市では、まだ病児保育を実施してい

ないが、多様な保育ニーズに対応した保育の拡充として病児・病後児保育事業を今後実施すべき事業として位置づけていく。来年度の導入に向けて今年度、受託医療機関との調整を図っていく。

議員 病児保育事業を導入する上で想定している人数、設備などについてはどのようになっているか。

福祉部長 想定している施設は、医師が常駐、もしくはすぐに対応できる体制で、定員については4人で常勤看護師1人、保育士1人を考えている。

議員 保護者が安心してあずけられる「病児保育」をぜひ導入していただきたい。

福祉部長 病児保育については、早期に事業の開始、また、その後の事業の充実に向けて努めていきたい。



▲保育園にも心強い医師がいたら安心ですね



全小・中学生を対象に生活習慣病予防検診を

手塚 静枝 議員

議員 本市では、「生活習慣病予備軍ゼロ」を目指し、過体重の小・中学生を対象に、小児生活習慣病予防教室が実施されており、検診後のフォローアップで、高い改善効果が表れている。

①全小・中学校を対象として事業を推進すべきでは。

②メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)にならないためにも、今後、検診を全児童生徒に広げていくべきでは。

③健康的な生活習慣を得るための健康教育は。

教育部長 ①②子どもたちにも生活習慣病の予備軍が増加していることから、

生活習慣病の予防が学校においても重要なことと考えるので、肥満傾向にある児童生徒を対象とした血液検査や血圧測定等の生活習慣病予防検診の実施について、財政面もあるが検討していきたい。



▲これからも防犯に努めてまいります

③3度の食事・運動の励行・生活習慣の確立等の指導を重点とし、全校をあげて取り組んでいる。児童生徒に自らの健康管理ができるよう、また、家庭の協力が得られるよう、教育活動全体を通じて健康教育を行っていく。

総務部長 ①昨年の発生件数と比較して、犯罪全体として大幅に減少しており、各町会等で実施している市民防犯パトロールの結果が表れている。

②原則は事前申込みだが、パトロール中でも実施していきたい。

安全ステーションの充実を

議員 ①市民の防犯活動

を支援する拠点が、昨年2カ所開設されたが、どのような効果が表れているか。

②住宅防犯診断をパトロール遂行中でも、市民に実施してはどうか。

総務部長 ①昨年の発生件数と比較して、犯罪全体として大幅に減少しており、各町会等で実施している市民防犯パトロールの結果が表れている。②原則は事前申込みだが、パトロール中でも実施していきたい。

※1 病児保育=普段保育園に通っている子どもが風邪などの病気にかかり、集団保育が不可能な場合に、その子どもを預かって保育すること。
 ※2 病後児保育=普段保育園に通っている子どもが風邪などの病気の回復期にあって、集団保育が不可能な場合に、その子どもを預かって保育すること。